

各関係団体の長 様

千葉県商工労働部長

(公印省略)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について (通知)

日頃、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に御協力いただきありがとうございます。

令和5年2月10日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「マスク着用の考え方を見直し等について」が決定されるとともに、基本的対処方針が変更されました。

これを受け、令和5年2月17日の第59回千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、令和5年3月13日以降の県における対策の内容を決定し、別添1のとおり報道発表しました。

つきましては、当該内容について、貴団体の会員に対して速やかに周知いただきますようお願いいたします。

なお、対策の内容については、今後も国の動向、県内及び隣接都県の感染状況等を踏まえ、随時見直しを行ってまいります。

また、マスク着用の考え方について、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部から、別添2のとおりリーフレットの送付がありましたので、周知の際に御活用ください。周知に当たっては、本人の意に反してマスクの着脱を強いることがないよう御配慮をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、引き続き御理解・御協力をお願いします。

<添付資料>

別添1-1 報道発表資料

別添1-2 要請概要

別添2 マスクの着用に関するリーフレット

参考 「マスク着用の考え方を見直し等について (令和5年3月13日以降の取扱い)」

(令和5年2月10日付厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡)

(連絡先)

千葉県商工労働部経済政策課政策室

電話：043-223-2769

E-mail：keisei11@mz.pref.chiba.lg.jp

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

令和5年2月10日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部長は、「マスク着用の考え方の見直し等について」を決定するとともに、基本的対処方針を示しました。

これを踏まえ、令和5年3月13日以降の県における対策の内容を、以下のとおりとすることとしました。

事業者の皆様におかれましては、今後見直される予定の業種別ガイドラインも確認し、事業所等での準備をお願いします。

なお、飲食店の感染防止対策に係る認証基準等については、今後、改正の上、改めてお知らせする予定です。

社会経済活動を維持していくために、引き続き県民や事業者の皆さまには、感染拡大防止対策の徹底をお願いします。

なお、内容については、今後も国の動向、県内及び近隣都県の感染状況等を踏まえ、随時見直しを行ってまいります。

1 基本的対処方針の概要

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保等の取組を進める。こうした取組により、重症化する患者数が抑制され、病床ひっ迫がこれまでより生じにくくなり、感染拡大が生じても、国民の命と健康を損なう事態を回避することが可能となる。今後は、こうした状況の変化を踏まえ、感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする新たな日常の実現を図る。
- (2) その上で、医療がひっ迫するような感染拡大が生じた場合には、強い行動制限を機動的に国民に求めるとともに、政府の責任において、新型コロナウイルス感染症以外の通常医療の制限の下、緊急的病床等を確保するための具体的措置を講じる。

2 県における基本的な考え方

- (1) 国の基本的対処方針に沿った措置等を行う。
- (2) 感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする新たな日常の実現を目指す。
- (3) 感染の拡大が認められる場合に、速やかに効果的な感染対策等を講じるとともに、医療がひっ迫するような感染拡大が生じた場合には、強い行動制限を機動的に県民・事業者に求める。
- (4) 期間は、令和5年3月13日から令和5年5月7日までとする。

3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

(1) 県民の皆様へ

○ 基本的な感染対策を徹底 ～効果的な換気を～

- ・ 室内の定期的な「換気」、「3つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用*」（不織布マスクを推奨。以下同じ。）、「手洗いやアルコール消毒などの手指衛生」、をはじめとした基本的な感染対策を徹底してください。
- ・ 「マスクの着用」の考え方については、以下のとおりとなります。

* 「マスクの着用」の考え方について

1 基本的な考え方

- ・ マスクの着用について、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。

2 各個人のマスクの着用の判断に資するよう政府が示すマスクの着用を推奨する場面

- ・ 高齢者などの重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、マスクの着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨します。
 - ① 医療機関受診時
 - ② 高齢者などの重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
 - ③ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（※）に乗車する時（当面の取扱い）
 - ※ 概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除きます。
- ・ そのほか、新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。
- ・ 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者については、勤務中のマスクの着用を推奨します。

3 症状がある場合等の対応

- ・ 症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないため、外出を控えましょう。通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクを着用しましょう。

【留意事項】

- ・ マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるようにしてください。
- ・ 子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。
- ・ なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。ただし、そのような場合においても、子どものマスクの着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意する必要があります。

(参考) 事業者における対応

マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。

※ 令和5年2月10日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡「マスク着用の考え方の見直し等について（令和5年3月13日以降の取扱い）」

URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/230210-zimurenaku-mask.pdf>

※ リーフレット

URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/poster-date.pdf>

※ 「効果的な換気のポイント」

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/kankipoint.pdf>

※ 「3つの密」とは①密閉空間②密集場所③密接場面という3つの条件をいう

※ 「新しい生活様式の実践例」

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/newlifestyle.pdf>

- ・ 風邪症状等、体調不良が見られる場合は、受診以外は、出勤、登校を含め、外出を控えましょう。

なお、発熱等の症状があるときは、感染リスクを下げるため、あらかじめ医療機関に連絡してください。

- ・ 業種別ガイドライン等を遵守している施設等を利用してください。

○ 外出について ～感染リスクを減らす行動を～

- ・ 高齢者や基礎疾患を有する方は、混雑した場所をできるだけ避ける等、感染リスクを減らす行動を心がけてください。
- ・ 帰省や旅行など、都道府県間の移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、移動先での感染リスクの高い行動は控えてください。

○ 飲食時の注意

- ・ 大声や長時間の飲食を回避するようお願いします。
- ・ 1テーブル4人を基本として、広さに応じて、一定の距離等を確保できる人数でお願いします。
- ・ 箸やコップは使いまわさないでください。
- ・ 手指消毒を徹底してください。
- ・ 飲食店を利用する際は、感染防止対策について県が認証・確認している「千葉県飲食店感染防止対策認証事業認証店」、「千葉県飲食店感染防止基本対策確認店」を利用してください。

※ お店のリストは千葉県ホームページに掲載しています。

「千葉県飲食店感染防止対策認証事業認証店一覧」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/inshoku-taisaku/inshoku-ninsho-ichiran-all.html>

「千葉県飲食店感染防止基本対策確認店一覧」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/inshoku-taisaku/inshoku-kakunin-ichiran.html>

※ 「千葉県飲食店感染防止対策認証事業認証店」については、令和5年3月31日をもって終了します。

- ・ 飲食店を利用する際は、お店から求められる感染防止策に協力してください。
- ・ 換気が良く、座席間の距離が確保されている又は適切な大きさのパーティション等が設置されている店を選んでください。
- ・ 自宅等で同居家族以外の方が集まって飲酒をするいわゆる「宅飲み」や飲酒を伴わないホームパーティ等においても、飲食時の注意を守ってください。

○ ワクチン接種について ～早期接種の推奨～

- ・ 高齢者などの重症化リスクの高い方については、ご自身やご家族などの周りの方がワクチンを接種してください。
- ・ ワクチン接種については、20代、30代の若い世代の方も含め、年代や接種回数などに応じて、感染による重症化や後遺症から自分を守るためにも速やかなワクチン接種を検討してください。

○ 受診について

- ・ 救急外来及び救急車は、適切に利用してください。
 - ※ 救急車の要請に迷う場合は、自宅療養者フォローアップセンターや救急安心電話相談を利用してください。
 - ※ 自宅療養中に容態が急変した場合には、躊躇なく救急車を呼んでください。
- ・ 症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方は、発熱外来の受診に代えて、検査キットを用いて検査することや、陽性と思われる結果が出た場合には、陽性者登録センター又はオンライン診療の利用等を検討してください。
「千葉県新型コロナウイルス感染症に係る検査キットの配付及び陽性者登録について」
https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kenkoufukushi/test_distribute_and_register_positive.html

○ 検査について《特措法第24条第9項》

- ・ 以下の①、②の場合、検査を無料で受けることができます。
 - ① 新型コロナウイルス感染症の症状がなく、県民割（本県は、千葉とく旅キャンペーン）などの観光需要喚起策を利用するにあたり陰性証明を必要とする方が、感染に不安を感じる場合
 - ② 新型コロナウイルス感染症の症状はなく、また基本的な感染対策の徹底等の県民の皆様への協力要請事項を遵守している方が、なお、感染リスク等が高い環境にある等の理由により感染している可能性に不安を抱えている（※1）、又はあらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある（※2）等で、検査を受検することによってより一層の不安解消を希望する場合
 - ※1 ご自身が重症化リスクが高いがワクチン接種を3回受けられない方など
 - ※2 重症化リスクが高い方に仕事等で日常的に接する方など
- ・ この検査を希望される場合、県に登録した薬局、検査機関等において検査を受けることができます。（検査実施拠点一覧は、千葉県ホームページに掲載しています。）
「千葉県新型コロナウイルス感染症に係るPCR等検査無料化事業」
URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippeikansenshou/percmuryouka.html>
- ・ この検査を無料で受ける場合には、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、知事の要請に応じたものとして扱われます。ただし、医療機関等が行う検査を圧迫しない範囲とします。
- ・ 感染状況や国の動向等を踏まえ、変更又は中止する場合があります。

【留意事項】

- ・ ②の場合は、不安の内容等に関するアンケートへの回答が必要となります。また、このアンケートへの回答内容の確認のために、県が連絡をすることがあります。
- ・ 症状のない方が検査を目的として診療・検査医療機関（いわゆる発熱外来）を受診することは避けてください。
- ・ 無料検査以外の方法により検査を受けることを妨げるものではありません。
- ・ 本事業の検査結果は、新型コロナの患者であるかどうかの確定診断を示すものではありません。また、検査で陰性となった場合も、感染している可能性が否定されたわけではありません。引き続き、基本的な感染予防策の徹底をお願いします。
- ・ 検査で陽性となった場合は、自身のリスクに応じ、千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センターへの登録等の必要な対応をとるとともに、その結果、入院や自宅待機を求められた場合には従ってください。
- ・ ②の場合に、感染に関する不安を解消する以外の利益や便宜（例えば、商品券、割引クーポン、キャンペーンへの参加資格等）の供与を受けることは制度の趣旨に反していますのでご注意ください。
- ・ 学校や会社の求めに応じ検査結果を提出するために、この無料検査を利用することはできません。

(2) 事業者の皆様へ

- 業種別ガイドラインを遵守してください。※1《特措法第24条第9項》
- 出勤者数の削減の目標を定め、在宅勤務（テレワーク）の活用を推進するとともに、職場に出勤する場合でも、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組を推進してください。
- 職場においては、感染防止のための取組※2（マスクの着用*、手洗いや手指消毒、咳エチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行（※3）、ドアノブ・スイッチ等の複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状がみられる従業員の出勤自粛、軽症状者に対する抗原簡易キット等を活用した検査、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議等の活用、昼休みの時差取得、社員寮等の集団生活の場での対策等）や「3つの密」等を避ける行動を徹底するよう促してください。特に、職場での「居場所の切り替わり」（休憩室、化粧室、更衣室、喫煙室等）に注意するよう、周知してください。
- 療養を終了した方や濃厚接触者の待機期間が終了した方が職場等で勤務を開始するに当たり、職場等に証明（医療機関・保健所等による退院若しくは宿泊・自宅療養の証明又はPCR検査等若しくは抗原定性検査キットによる陰性証明等）の提出を求めないようにしてください。《特措法第24条第9項》
- 職場において従業員が、感染者や濃厚接触者となった場合に備えて、社会経済活動の維持と感染防止対策の両立のため、業務継続計画の確認等を進め、事業の継続を図ってください。
- 職場や店舗等において、業種別の感染拡大予防ガイドラインが策定されている場合には、それを確実に実践し、感染拡大防止対策を徹底してください。また、業種別の感染拡大予防ガイドラインが策定されていない場合は、類似する業種のガイドラインを参考に対策を徹底してください。
- 取り組んでいる感染拡大防止対策について、店舗等への掲示やホームページへの掲載により、県民にわかりやすく公表してください。
- 高齢者や基礎疾患を有する方など重症化リスクのある労働者及び妊娠している労働者や同居家族にそうした方がいる労働者については、本人の申出等を踏まえ、テレワークや時差出勤等の感染予防のための就業上の配慮を行ってください。

※1 業種別のガイドライン

（内閣官房ホームページ）

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

※2 千葉県ホームページの「事業所におけるオミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策について」を御確認ください。

https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/20220908workplace2_3.pdf

※3 「効果的な換気のポイント」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/kankipoint.pdf>

【留意事項】

- マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されません。

(3) イベント主催者及び開催する施設の管理者の皆様へ【第 24 条第 9 項】

- イベントの実施に当たっては、「感染防止安全計画」や「感染防止対策チェックリスト」により、その規模にかかわらず感染防止対策を講じて実施してください。

【収容率・人数上限の目安等】

- ① 感染防止安全計画*を策定し、県による確認を受けた場合
人数上限：収容定員まで
- ② ①以外の場合
収容率上限：100%
かつ
人数上限：5,000 人又は収容定員の 50%以内のいずれか大きい方

※ 感染防止安全計画は、参加人数が 5,000 人超かつ収容率 50%超のイベントを対象に、イベント開催時に必要な感染防止策を着実に実施するために策定して提出していただくものです。

【留意事項】

- 催物開催に当たっては、その規模にかかわらず、業種別ガイドラインの徹底や、「3つの密」が発生しない席の配置、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用*」、催物の開催中や前後における選手、出演者や参加者等に係る主催者による行動管理等、基本的な感染防止策を講じてください。
- 参加者に対し、イベント等の前後の活動における基本的な感染対策の徹底等と呼びかけてください。
- 感染防止安全計画の提出は、イベント開催の 2 週間前までに行うように努めてください。また、感染防止安全計画を提出した場合は、イベント終了後、1 か月以内を目途に、結果報告書を県に提出してください。
- 県による感染防止安全計画の確認を受けていないイベントについては、「感染防止策チェックリスト」をホームページや SNS 等で公表し、イベント終了日から 1 年間保管してください。
- 感染防止策の不徹底やクラスター発生の可能性がある場合など問題が発生した場合は、感染防止安全計画の策定の有無にかかわらず、直ちに、県及び関係府省庁に結果報告書を提出してください。

※ 開催制限の目安、感染防止安全計画の提出方法等の詳細については、千葉県ホームページに掲載している「イベントの開催制限等について」を十分に御確認ください。

URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/event-limitation0915.html>

※ 上記の条件のほかは、令和5年2月10日付け内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長事務連絡「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び令和5年2月10日付け内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長事務連絡「イベント開催等における感染防止安全計画等について（改定その10）」のとおりとします。

※ 提出いただいた結果報告書は、他の都道府県や関係府省庁へ情報提供する場合があります。

参考1 これまでの緊急事態宣言発令時等に要請した感染防止対策（別表参照）も参考にしてください。

参考2 「チーバくん」がデザインされた「感染拡大防止対策チェックリスト」（千葉県ホームページ）

URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/ncovchecklist.html>

別表 これまでの緊急事態宣言発令時等に要請した感染防止対策

1. 徹底した換気を行ってください。

※ 例えば、二酸化炭素濃度測定器を用いて店内を測定し、二酸化炭素濃度が一定水準（1000ppm）を超えないように換気や収容人数を調整してください。なお、二酸化炭素濃度が一定水準を超えた場合に自動的に換気が行われる技術を導入する方法もあります。

※ 機械換気設備がある場合は適切に稼働させ、ない場合は、30分に1回以上、数分程度、二方向の窓を全開するなどにより換気量を確保してください。窓が一つしかない場合は、ドア等を空けてください。

2. 飲食をする場においては、全ての座席について「同一グループ内の人と人との間隔」及び「他のグループとのテーブル間の距離」を一定以上（目安1～2m）確保してください。なお、距離の確保が困難な場合には、飛沫の飛散防止に有効な遮蔽板（アクリル板等）を設置するなどの工夫をしてください。

※ 遮蔽板（アクリル板等）の設置：同一テーブル上の正面及び隣席との間、並びに他のテーブルとの間に設置。遮蔽板（アクリル板等）の高さは、目を覆う程度の高さ以上のものを目安としてください。

3. 店舗入口や手洗い場所、席の近く等に、手指消毒用の消毒液を用意してください。また、従業員は来店者の入店時に、消毒液を使用するよう呼びかけをお願いします。

4. 店舗入口及び店内に、「食事中以外のマスクの着用をお願いします」旨を掲示又は呼びかけを行ってください。

5. マスク着用のお願いについて、正当な理由がなく応じない方の入場を禁止してください。すでに入場した方には退場を促してください。

6. 店舗入口及び店内に、「発熱や咳などの異常が認められる場合は入場をお断りさせていただく」旨を掲示するとともに、正当な理由がなく応じない方の入場を禁止してください。すでに入場した方には退場を促してください。

7. 人と人が対面する場において、アクリル板など、会話により飛散する飛沫を遮ることができる板等を設置するか、相互の適切な距離を確保してください。

8. 従業員へ、保健所から行政検査を受けるよう指導等があった場合には、受検することを促していただくをお願いします。

9. 入場者が密集しないよう、入場者の整理及び誘導をお願いします。

10. 事業所の消毒をお願いします。

令和5年3月13日以降の主な感染拡大防止対策について

令和5年2月17日
千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部

要請期間	令和5年3月13日から令和5年5月7日まで	
県民の皆様へ	基本的感染対策について	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内の定期的な「換気」、「3つの密」の回避など基本的な感染対策を徹底 ● マスクの着用について、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本 ● 各個人のマスクの着用の判断に資するようマスクの着用が効果的である場面などを示し、一定の場合にはマスクの着用を推奨 ※ 詳細は別紙「マスクの着用」の考え方についてを参照
	外出について	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者や基礎疾患を有する方は、混雑した場所をできるだけ避ける等、感染リスクを減らす行動を
	飲食について	<ul style="list-style-type: none"> ● 大声や長時間の飲食を回避 ※ 「会話をする際はマスクを着用」を削除 ● 認証店・確認店の利用を*
	ワクチン接種について	<ul style="list-style-type: none"> ● 年代や接種回数などに応じて、速やかなワクチン接種を検討
	受診について	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急外来及び救急車は、適切に利用を ● 症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方は、発熱外来の受診に代えて、検査キットを用いて検査をし、陽性者登録センターやオンライン診療の利用を検討
	検査について	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染不安を抱える無症状の方を対象とした無料検査事業については、当面の間、実施【特措法第24条第9項】
事業者の皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種別ガイドラインを遵守【特措法第24条第9項】 ● 職場復帰に当たり、療養証明・陰性証明等を求めない【特措法第24条第9項】 	
イベント主催者等	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントの実施に当たっては、「感染防止安全計画」や「感染防止対策チェックリスト」により、感染防止対策を講じて実施【特措法第24条第9項】 <p>【収容率・人数上限の目安】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 感染防止安全計画を策定し、県による確認を受けた場合 人数上限：収容定員まで ② ①以外の場合 収容率上限：100% かつ 人数上限：5,000人又は収容定員の50%以内のいずれか大きい方 	

*認証店については、令和5年3月31日をもって終了します。

*飲食店の感染防止対策に係る認証基準等の改正については、別途発表します。

「マスクの着用」の考え方について

1 基本的な考え方

- ・ マスクの着用について、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。

2 各個人のマスクの着用の判断に資するよう政府が示すマスクの着用を推奨する場面

- ・ 高齢者などの重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、マスクの着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨します。

① 医療機関受診時

② 高齢者などの重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時

③ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（※）に乗車する時（当面の取扱い）

- ※ 概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除きます。

- ・ そのほか、新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

- ・ 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者については、勤務中のマスクの着用を推奨します。

3 症状がある場合等の対応

- ・ 症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないため、外出を控えましょう。通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクを着用しましょう。

【留意事項】

- ・ マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるようにしてください。
- ・ 子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。
- ・ なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。ただし、そのような場合においても、子どものマスクの着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意する必要があります。

(参考) 事業者における対応

マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。

※令和5年2月10日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡「マスク着用の考え方の見直し等について（令和5年3月13日以降の取扱い）」

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/230210-zimurenraku-mask.pdf>

※リーフレット

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/poster-date.pdf>

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

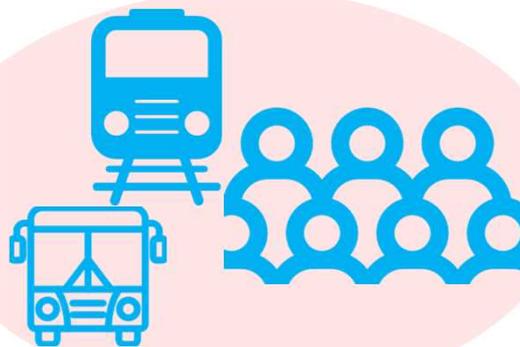
ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

基礎疾患を有する方



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

事務連絡
令和5年2月10日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部

マスク着用の考え方の見直し等について
(令和5年3月13日以降の取扱い)

平素より、新型コロナウイルス感染症対策に御尽力、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナ対策におけるマスクの取扱いについては、「マスクの着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」（令和4年5月20日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部・子ども家庭局事務連絡）に基づく対応をお願いしてきましたが、令和5年1月27日の「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について」（令和5年1月27日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）では、新型コロナの感染症法上の位置づけの変更に伴い、

- ・ 「マスクについては、屋内では基本的にマスクの着用を推奨するとしている現在の取扱いを改め、（中略）着用は個人の判断に委ねることを基本として検討する。あわせて各個人の判断に資するよう、政府はマスクの着用が効果的な場面の周知を行う」とされ、
- ・ また、「マスクの取扱いの検討に関しては感染状況等も踏まえて行い、今後早期に見直し時期も含めその結果を示す」とされてきました。

新型コロナの直近の感染状況については、新規感染者数、重症者数や病床使用率は低下傾向が続き、死亡者数や救急搬送困難事案数も依然として高い水準にあるものの減少傾向が続いています。

現在の感染状況、厚生科学審議会感染症部会の意見や厚生労働省アドバイザリーボードにおける議論も踏まえ、マスク着用の考え方について、現在、屋内では原則着用、屋外では原則不要としている現在の取扱いを改め、

- ・ 行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とすること
- ・ 政府は各個人のマスク着用の判断に資するよう、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などを示し、一定の場合にマスクの着用を推奨すること

とします。つきましては、本日新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された「マスク着用の考え方の見直し等について」に基づき、下記のとおり対応をお願いいたします。

この取扱いは、円滑な移行を図る観点から、国民への周知期間や各業界団体・事業者の準備期間等も考慮し、令和5年3月13日から適用いたします。令和5年3月12日までは、屋内では原則着用、屋外では原則不要との考え方は変わりませんので、これに沿った対応をお願いいたします。

あわせて、リーフレットを別紙のとおり作成していますので、周知にご活用ください。

つきましては、本内容について御了知の上、関係各所へ周知の程、お願い申し上げます。なお、今般の見直しを受けた保育所等における子どものマスク着用の取扱や、医療機関や高齢者施設等における対応については、それぞれ当省所管部局より各自治体の所管部局宛に別途連絡することを申し添えます。

記

1. 見直しの概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策におけるマスクについては、屋内では基本的にマスクの着用を推奨するとしている現在の取扱いを改め、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とし、政府は各個人のマスクの着用の判断に資するよう、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などを示し、一定の場合にはマスクの着用を推奨すること。
- ・ このマスク着用の考え方の見直しは、円滑な移行を図る観点から、国民への周知期間や各業界団体及び事業者の準備期間等も考慮し、3月13日から適用することとし、それまでの間はこれまでの考え方（※1）に沿った対応をお願いすること。

（参考）学校におけるマスク着用の考え方の見直しは4月1日から適用。

※1 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）（抜粋）

- ・ 屋内において、他者と身体的距離（2m以上を目安）がとれない場合、他者と距離がとれるが会話を行う場合、屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合は、マスクの着用を推奨する。また、高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクの着用を推奨する。マスクは不織布マスクを推奨する。なお、屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ない。
- ・ 屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要なく、特に夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨する。
- ・ また、乳幼児（小学校に上がる前の年齢）のマスクの着用には注意が必要であり、特に2歳未満では推奨されない。2歳以上の就学前の子供についても、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には推奨しない。なお、本人の体調がすぐれず持続的なマスクの着用が難しい場合は、無理に着用する必要はなく、マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子供の体調に十分注意した上で着用すること。

2. 着用が効果的な場面の周知等

- ・ 高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨すること。
 - (1) 医療機関受診時
 - (2) 高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
 - (3) 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（※2）に乗車する時（当面の取扱）
 - ※2 概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。
- ・ そのほか、新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い者が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的であることを周知していくこと。

3. 症状がある場合等の対応

- ・ 症状がある者、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の者、同居家族に陽性者がいる者は、周囲の者に感染を広げないため、外出を控えること。通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクを着用すること。

4. 医療機関や高齢者施設等における対応

- ・ 高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者については、勤務中のマスクの着用を推奨すること。

5. 留意事項

- ・ マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう周知すること。
- ・ なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ること。
※ただし、そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意する必要がある。

(参考) 事業者における対応

- ・ マスクの着用は個人の判断に委ねられるものであるが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される。
- ・ 各業界団体においては、必要に応じ「業種別ガイドライン」の見直しを行い、現場や利用者へ周知することとなる。

6. 基本的感染対策

- ・ マスク着用の考え方の見直し後であっても、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行をお願いすること。

(参考) マスク着用を含む感染対策に関する専門家の意見・科学的知見

- ・ 「これからの身近な感染対策を考えるにあたって（第一報）」（第115回（令和5年1月25日）新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード提出資料）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001044065.pdf>

- ・ 「マスク着用の有効性に関する科学的知見」（第116回（令和5年2月8日）新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード提出資料）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001055263.pdf>